

18年からの奨学金制度に

1億円寄付中村さんに感謝状

「青少年育成に役立てて」

【埼玉】 函館市は、2018年度に支給を始める返済不要の新たな奨学給付金制度の財源に1億円を寄付した戸田中央医科グループ（埼玉県戸田市）会長の中村隆俊さん（89）に対し、現地で感謝状を贈った。（山崎大和）

経済的理由により修学が困難な大学生を支援する狙い。1億円は今年13日に受領した。感謝状の贈呈は21日、戸田中央総合病院で行われ、中林重雄副市長が中村さんに手渡した。子ども未来部子ども企画課の宿村篤由課長も同席。市側が新しい給付金制度について、市議会からも継続してほしいとの要望が出されたことを伝えると、中村さんは大変喜んだという。

中村さん（右）に感謝状を手渡した中林副市長（中央）＝市提供



で、評定平均が4・3以上補者の募集を始め、11月に検討している。9月に候決定する予定。月額3万円、

入学時の一時金として10万円を給付する。年間8人を募集し、うち1人は6年制の医学部や薬学部に通う学生を対象にする。25年度の入学生まで新規募集する計画で、30年度まで事業を継続する。

中村さんはせたな町出身で、函館東高校（現市立函館高）を経て北大医学部に進み医師となった。郷土愛が強く、市に「青少年の育成のため役立ててほしい」と個人で寄付を申し出た。

新函館新聞

HAKODATE SHIMBUN

2017年(平成29年)

3月23日(木)